

9/27 (金) スキ×ナ×アジ

Banjumrung 滞在 15 日目 (宿泊最終日)。帰国まであと 5 日。

朝 5 時半にグダグダと起きて支度し、ゴムの収穫作業を見るべく、パットゥーンさんの後を自転車について行きました。

センター前の道路はどこまでも続く微妙な坂道で、これがまた辛い！しかも私の自転車は車輪が小さいので、坂道を一気に駆け上がるには不向きでした…目的地に着く頃には、虫除けの長袖シャツを脱ぎ捨てるほど汗だくになっていました。

着いたはいいものの、今日は作業が終わったのか？やってなかったのか？人の気配がありませんでした。するとパットゥーンさんが誰かに電話してくれて、私たちのために作業を少し見せてくれるとのこと！そして別のおばちゃんが到着すると、またまた坂を登って別のゴム林に行きました。

そこで、何本か樹を切って、ゴムが流れ落ちてくる様子を見学しました。説明は全てタイ語だったのですが、恐らく前回大槻先生と訪れた時と同じ話だったと思いたいです…

その後、一旦 home に帰って一眠りし、9 時頃に希呼 (ゴムは見えていない) と合流して出発。センターに行く前に、今日は holly day ということで、近くのお寺を見学させていただきました。

人はほとんど帰ってしまった後でしたが、おじいちゃん・おばあちゃんたちが手に手にお供え物？を持って、お寺を訪れていました。

とりあえず簡単にお参りをし、尼さんに許可をいただいて写真を撮らせていただきました。が、宗教に疎いのであまり細かいことは分からず…うーん不完全燃焼です。

センターに着いてからはやっと朝食をとりました。いつもいつも遅くてごめんなさい！

するとパットゥーンさんが手招きしてきて、またゴム林まで連れて行ってくれるとのこと。今度は荷台付きバイクに乗せていただいたので助かりました。朝から体力使いすぎですでにへろへろな私…(;´Д`A

到着してみると、そこには大量のゴムが！カップ内に溜まった分を回収してきたようで、1 個あたり 200~300g くらい、それがたくさん集まった塊 (50kg 以上) が 12 個はありました (実際の本数はわかりません)。匂いがとにかく凄まじくて、触らない方がいいと言われました。

それをおじさんたちがトラックの荷台に放り込んでいました。この後は工場に持って行って、キレイに洗って加工されるのだそうです。

「天然ゴム」というワードはよく目にしますが、その「天然」が本当に目の前に存在していたことが何だか不思議に感じました。

バイクでまたセンターに戻ってからは、seller グループのショップを観察したりしていました。

ここで、かき氷のいちごシロップのような味のジュースが飲みたくて聞いてみたところ、チャーを売っているお店で発見したので、即お買い上げでした (笑)

ナムデンという名前だそうで、何と原材料は私が苦手な果物・サララ (° Д °)

その果汁 (実際は着色料が入っているかもしれない) とソーダ水を混ぜたら、あの味になるのだそうです。

また、前から気になっていた、道端でよく売られているタイの宝くじについてヴィロウさんに尋ねたところ

結果が 1 年後に出る？宝くじで、1 等 2000 万バーツ~5 等 10000 バーツ (前後賞含む) まで、当選金は高いけど当たる確率は低い (6 ケタ全てが揃わないと当たらない。下 2 ケタや 3 ケタもあるけど当選金は下がる) ものでした。

今はインターネットで結果が分かるらしく、もし日本で当選して換金したい場合は、日本のタイ領事館に行くと手続きしてくれるそうです。

面白そうだなと思いましたが、昔からクジ運が悪い&こんなところで運を使わないで別の時にとっておきたい、と考えて止めまし

た。

それから昼食までは、ファンさん宅の **home garden** の写真を撮りに行って雨に降られ、急遽ファンさん宅（おばあちゃん宅）で雨宿りしたり、みかんをいただいたりしていました。

洗濯物をやっつけてからセンターに戻って遅めの食事をとると、昼寝も兼ねて **home** に戻りました。

この日記を書いたり、希呼とプレゼンについて議論したりしながら過ごしていると、パットゥーンさんからお手伝いを頼まれました。台所で、明日の昼食の下ごしらえが始まっていたので、小玉ねぎの皮を剥いたり、豆？や唐辛子のヘタ取りを手伝うことに。途中でいただいた、芋餅？ちまき？のようなものが美味しかったです(´▽`)

そして床に5パーツが落ちていたらしく、何故か私がもらいました。これでお菓子が1つ買えます（笑）

作業が終わったところで、パットゥーンさんが何やら私に「クン チョープ プゥーパッポンガリー」的なことを言ってきて、何のことだろう？と思っていたのですが、後に希呼から「何か海行くって言ってる」という報告を受けて、やっと意味が分かりました。

そのままバンに乗って移動し、着いた先はやっぱり！前回行ったシーフード料理屋さんでした。

席に着いて、勧められるままに迷わず注文したのは「プゥーパッポンガリー（カニのカレー炒め）」、タイに来て私が一番好きな料理です。

（私が以前「これが好きだ」と言ったのでお母さんも知っていたのだと思います）

雨が降らないことを祈りながら外で食べたシーフード料理は、どれも美味しかったです(´▽`*)

ただ、カブトガニの卵？が出てきたときは、リアル甲羅だったのでびっくりしました…

ここで、ブンさんと雑談しながら、気になっていたことをいくつか聞きました。

Q. タイ人は全員ニックネームを持っているのか？誰がつけるのか？

A. みんな持ってる。母親が子供にニックネームをつける（本名と全く関係無かったりする）

例：ブンさん…「gun（銃）」色が黒かったから

トウッキェンさん…「とかげ」赤ちゃんの時、とかげみたいにハイハイしてたから

Q. rice field はいつ作業しているのか？

A. 現在、**Banjumrung** では4世帯しか米を作っておらず、あまり詳しいことは分からない。30年近く前はもっと多くの家がやっていた（パットゥーンさん宅も）が、今はほとんどがゴム農園にシフトチェンジしている（米は年1回収穫だけど、ゴムは取れる限りいつでも何回でも収穫できるから）

予想以上に米農家が少なくて驚きでした…

帰りはブンさんの運転で、海辺までドライブして帰宅。本当にありがとうございました！

寝る前には、滞在ノートに英語・日本語・タイ語でコメントを書き、切り絵でもみじを作って貼ってみました（日本らしさ強調）。

あっという間に2週間が過ぎていきました。何だかんだで明日にはここを出発です。

名残惜しいし、やっと村に馴染んできた頃だったので、まだまだやりたかったこと・見たかったことがあります。

ノートにも書いたとおり、きっとまた機会があったら遊びに来ようと思います！